

あとがき

IAEA のガンマ線核データに関する会合でスロベニア共和国に行ってきた。と言っても、スロベニアが何処にあるか知らない人が殆どであろう。旧ユーゴスラビアで1992年に独立した国である。ユーゴスラビアと聞くとボスニア・ヘルツェゴビナの悲惨さが思い出されるが、スロベニアに関しては、少なくとも見た目には安定しており、治安もよく、大変美しい国である。日本では、スロベニアに関する情報は殆ど無く、そのせいか日本人観光客には全く遭遇しなかった。会議の行われた場所は美しい湖のそばで、いつかバカンスで再度訪れたいものである。

会議には、Dickens (ORNL)や Kopecky (ECN)等既に第一戦から退いた人も参加しており、彼等の知的的好奇心及びバイタリティーには感心させられた。オールドパワー健在である。一方、若い人の科学離れは何処も同様で、スロベニアも例外ではなかった。今後、如何に若い人を我々のコミュニティに引きつけられるかが、重要な問題となってくる。

柴田 恵一

e-mail: shibata@cracker.tokai.jaeri.go.jp

核データ編集委員会

柴田 恵一 (委員長、原研)、井頭 政之 (東工大)、岩本 修 (原研)、
喜多尾 憲助 (データ工学)、高田 弘 (原研)、長谷川 明 (原研)、
吉田 正 (武蔵工大)